

広報 晴耕雨読

[Seiko-udoku]
2024年6月 vol.64



お料理活動・頑張っています!



▼お仕事・役割があります
米とぎ、精米、消毒用アルコールの補充など利用者様それぞれに役割があります。やってもらうだけでなく、自分も誰かのために動くことがやる気に繋がります。



▼畑仕事



▼新聞エコバッグ配達
月2回程度、新聞エコバッグの配達に出掛けています。



X (twitter)
carestanakamach



Facebook
caresta.day



instagram
care.sta

広報 晴耕雨読

[Seiko-udoku]
2024年6月 vol. 64



一軒家 “まるごと” 生活リハビリ型デイサービス 活動報告



生活リハビリとは？
「自宅やデイサービスで、自分がしたいこと、できることを見つけて出し、生活動作として毎日繰り返すことで、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。」
テーブルを拭く、「飯をよそう、配膳を手伝う、衣服の着脱を自身で行うなど、生活のなかのあらゆる場面で、「利用者様が現在できていることは可能な限りご自身で行っていただきます。また、少しだけ頑張っていたく選択プログラムもご利用しております。そのことが、生活の質の維持・向上につながる」と考えるからです。
さらに、ケアスタ中町では、お一人おひとりのご利用者の心に潜んでいる「してみたいこと」を一緒に探し出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。
☑様々なプログラムがありますので、集団になじめない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムもご利用しております。

認知機能や身体機能の維持・向上を図ることができます。

その方の生活の質の維持・向上が期待ができます。

「したいこと」を見つけ出すことで、意欲を引き出せます。



新聞エコバッグ配布



SDGsの取組として、利用者の皆様に新聞エコバッグを作って頂いています。出来上がったエコバッグは児童クラブや近所のお店に置かせていただいています。

新聞エコバッグ配布

「なじみの作業記憶」を活用
認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやらされていることへの怒りを感じることもあるでしょう。
一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていることとあります。認知症の人は、そうした体で覚えたこと「なじみの作業」は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずにすすみます。

要支援・要介護 1～5の方がご利用できます。

見学・体験利用受付中

ご利用に関するご相談はLINE
またはお電話でお問合せ下さい！



☎0228-24-8456